

シルバー大学「自然と小さな旅」＜10月の旅＞神代植物公園 ～植物公園に秋を見つけ 名物深大寺そばを味わう旅～



朝のうちは雨が残っていた10月15日、調布駅に集合し路線バスにて神代植物公園に行ってきました。正門にてボランティアガイドさんと合流して雨上がりの園内を解説付きで見学することができました。

＜自然観察メモ…ガイドさんより＞

・キンモクセイに対してギンモクセイを教えてくださいました。・京都御所の樹の孫に当たる実を付けているタチバナ。・葉を引っ張ると矢筈(やはず)の形にちぎれる矢筈草は実際に試してみました。・葉が堅くて痛いのが黒松(男松)、柔らかいのが赤松(女松)。・落羽松(らくうしょう)の樹形とメタセコイアの樹形の違い。落羽松は水辺を好むこと。・美しく咲いているダリアは冬越しさせるため地際で切って塊根を地中に残しておくこと。・香りを楽しむバラの数々。雨上がりの午前中、咲き始めのバラが香り立つこと。・ミスターローズと言われた鈴木省三さんのこと。・バラコンクール花壇に咲くバラは作者を明かさないルール。・資生堂の香水に使われたバラ「芳醇」。・ローズヒップティーはバラの実を材料として作る。ガイドさんの興味深い説明に時間を忘れて聞き入りました。



昼食は深大寺門前「矢田部茶屋」にて天ぷら・煮物・和え物・まぜご飯・神代寺そばの「そば御膳」を美味しくいただけてきました。店内にて自由解散。深大寺に参拝に行かれた方もいました。